



平成二十八年年度
能登高だより第六〇号



盛夏特盛り号!

石川・加賀藩前田家ゆかりの地で！ 学年回より 難関大学見学会

8月5日(金)に、二年生の希望者が「東京大学の研究室見学プログラム」に参加して来ました。訪れた先はバーチャルリアリティ(拡張現実)の研究者として国際的にも有名な工学部廣瀬道孝教授の研究室。ジェットコースター体験や時間・空間移動の体験に参加した生徒はみな驚きの声をあげました。拡張現実は今現在、最先端医療や体験プログラムとして様々な分野で応用され、今後さらに広い分野で利用されていきます。

映画やアニメの中に入り込み、登場人物と共に行動することも可能です。高校生の時期に、最先端の研究に触れる機会を持てたことは、一人一人のこれからに大きな意味を持つてくると考えます。併せて実施された東大生との懇談会では、高校時代の勉強法や受験に臨む心構えなど多くの体験談を聞くことができました。

東大生はみな気さくで話しやすく、コミュニケーションやプレゼンテーションに長けていました。東大生に案内されるキャンパスツアーでは、東大図書館や安田講堂、有名な三四郎池も見学することができました。明治初期の洋風建築が多く残る東大構内は重厚で、長い伝統を感じさせられる場所でした。

【参加生徒感想】

今回このプログラムに参加して、勉強に対する意欲や意識が大きく変わりました。東大生との懇談の時間にいろいろ質問をしていく中で、自分と共通の部分があったり、自分にもできそうなことがあったりして、志望する大学に合格するために自分は何をすべきかという考え直した時間となったように思います。

進路実現への意欲、高まりました!



管理職リレーエッセイ 校長 大窪 直二

仕事から講演を聴く機会が多くあります。生徒には授業や集会で「寝るな」といっておきながら、正直、私自身ついウトウトもたまにあります。そんな自分が1時間30分の長い間、一睡もせずに聴くことができた講演がありました。植松電機専務取締役 植松 努氏の講演です。演題は「思うは招く」、サブタイトルが「夢があれば何でもできる」でした。大人も子供たち自身も使ってしまう言葉で「ど一せ無理」が、子供たちの全ての可能性を奪ってしまう、いじめの原因も作っている。

できるか、できないかで選ぶのではなく、やりたいか、すべきかを考える。子供たちに「将来何になりたい」と聞くのではなく「将来何をやりたい」と聞く。そして、私が一番心に残った言葉は、「教育とは失敗の避け方や責任の避け方を教えることではなく、失敗を安全に経験させるもの」でした。インターネット等で講演を聞くことができます。ぜひ一度、聞いてみてください。

地域創造科水産コースより①

海洋チャレンジプログラム2016

七月二十八日に、水産科恒例の海洋チャレンジプログラムが実施されました。

この催しは県の生涯学習の一環として行われており、県内の小中学生がおおとり丸に乗船し、石川の釣りなど洋上体験を通して、ふるさと石川の、海と深く繋がっているくらしを体験してもらっています。子どもたちにとっては、実際に自然の中で体験できたことで、海からふるさとを見る視点が育った学びの一日となったようです。



地域創造科水産コースより②

松波中学校との海洋教育交流

七月十五日、松波中学校の皆さんが来校し、水産科二年生の実習活動に参加、水産に関する様々な専門技術の一端を体験しました。

【本校生徒感想】

松波中学校の皆さんに僕



たちがいつも行っている実習を体験してもらいました。残念ながら、乗船実習は風が吹いて、出航できなかったのですが、視聴覚室で水産についてのビデオを見てもらいました。僕達の班は中学生とアジを捌いてアジフライにする実習をしました。何回かアジを開いたことがあるのですが、中学生に説明すると、自分が曖昧なことが分かり、とてもいい経験になりました。

そしてこれを機に、松波中の皆さんが能登高そして水産科に興味を持ってくれれば嬉しいです。

地域創造科福祉コースより

介護実習結団式報告

七月十二日に福祉コース実習結団式が行われました。二・三年生の福祉コースが夏休み中に五日間の実習に臨みます。

三年生の平瀬くんが代表し、「日頃の学習の成果を発揮し、実際の現場で学

びを深めたい!」と意気込みを述べていました。





地域創造科商業コースより 日商簿記検定二級合格!

三年 下谷 香織

私が初めて日商簿記2級を受けたのは2年生の2月です。毎日補習をしたり、土日も学校に来て勉強をしたのですが、合格率が10%台ということだけあって落ちてしまいました。その時はとてもシヨクで簿記を見るのも嫌になったのですが、「やっぱり受かりたい!」という気持ちが強くなり4カ月後の受験に向けて再び勉強する事になりました。6月の試験では範囲が改定されて、新しい論点が入ってくると聞いたのでとても不安でしたが、分からない所は山下先生に教えてもらったり、家では問題集六冊を二回繰り返し、出来ることは全てやりました。

そのお陰で六月の日商簿記検定二級に合格することができました。指導して下さいました山下先生や応援してくれた家族にとっても感謝しています。



進路課より 報告①自表現ワークショップ

八月一、二日に三年生就職希望者対象でエンパワーメントを高める自己表現の講座があり、コミュニケーションスキルやソーシャルスキルに磨きをかけました。



報告②学習合宿

八月十日〜十二日、場所は県立能アウトして、約三日の間、基本登少年自然の家 三十時間学習の学習習慣の確立で、二十四名ができました。と更なる実力養成 参加しました。詳細は次号のため、学習合宿 外野の騒音を 掲載予定です!

地域創造科より

開催!フォークリフト講習会

三年 松山・坂口・下田

七月二十一日から二十三日にかけて小型フォークリフト講習会があり、地域創造科三年十五名が参加しました。

初日は学科で、エンジンの構造、法令等初めて聞く言葉も多く、本当に難しく感じました。それでも筆記試験は九十点くらいあり、よかったですと思いました。二日目は実技でした。想像以上に、スピード感覚やハンドルを回す量、タイヤの廻るタイミングなどが難しく苦戦しました。しかし、解説をきくうちに、コツを掴み、上手く運転できるようにになりました。この資格を社会で活かしてみたいと思います。

鳳柳寮より

避難訓練実施!

寮長 三年 高橋 直輝

七月七日、寮の避難訓練が行われました。三階男子棟洗面所の乾燥機から出火ということで、中央階段ではなく非常階段を使って外に出ました。入寮してから今まで幸いにも火災はなかったですが、火災はいつ起きるか分からないので、寮長として防災意識を持ち、訓練に臨みました。寮生も一人ひとり、『もし今このようにことが起こったら...』という危機意識をもって訓練に臨んでくれました。そのお陰で、全員速やかに行動することができました。

その後は、水消火器と消火用ホースの説明を受け、実物を使つての訓練も行いました。ホースから水が出て来た瞬間、思っていた以上に強力な水圧を感じ、消火力の高さを感じました。ある一人が出番のとき、ホースをしっかりと握らなかつたため、高圧の水の制御ができないという場面もありましたが、緊急時に対処しうるスキルを学べた時間となったと思います。



地域創造科農業実習奮闘!

二年生農業コースは農業技術を更に高めるため、実習をしました。受入れ先では日々、技術鍛錬に励みました。



教務課より 学校説明会開催されました!

七月二十九日初めて校外開催となる学校説明会が「コンセールのと」で行われ、事前に申込みがあつた能登中学生とその保護者合わせて五十三名が参加しました。最初に能登高校を応援する会の谷内與三郎会長、大窪校長の挨拶から始まり、学校紹介のビデオ上映やスライドによる学校説明を行いました。能登高校では新しい学びとしてアクティブラーニングやICT機器を活用した授業も行っており、部活

動や金沢大学との連携事業の紹介、学校生活の様子、地域連携プロジェクトの取組について説明しました。また、ホール内には学校紹介ポスターや能登高だより等の資料を展示し、担当者からは手作りした。学校校案内と要覧を配付しました。学校紹介のビデオを真剣な眼差で見ると中学生、熱心に資料を読んだり、メモを取る保護者の姿も見られました。質疑応答は事前質問に学校側が一つずつ答える形で、最後にアンケートに答えて頂きました。

ご来場して下さいました。今回の難関大見学で訪れた東大は加賀藩上屋敷地内に立っているんだ。写真の赤門は国の重要文化財に指定されているよ!



生徒会より *各部の成績*

野球部・・・能登 0-14 金商

吹奏楽部・・・コンクール銅賞

熱い闘いをありがとう!



猛特訓中。



インターハイ〜テニス部速報!〜

テニス部...団体戦 米子松蔭 2-1 能登

個人戦 1回戦: 大町・東 4-3 沖繩県

2回戦: 米澤・東 1-4 北海道

大町・東 0-4 北海道

柏井・大澤 3-4 広島県

端山・山下 4-1 千葉県

松岡・奥野 4-1 福岡県

3回戦: 松岡・奥野 2-4 奈良県



英語科より 第一回検定結果

おめでとうございます!

2級合格者

三年一組 池田 紅葉

準2級合格者

三年一組 道中 明日香

主な行事予手

- 1日 始業式
- 2~3・5日 能登高祭・体育祭
- 10日 土曜スクール
- 14日 壮行式
- 22日 救急救命講習会
- 24日 鳳雛塾⑧
- 25日 情報処理検定
- 28日 後期生徒会役員選挙



